



群馬県立がんセンターだより

第32号

発行 平成28年6月 群馬県立がんセンター

理 念

私たちは、患者さんの意思を尊重するとともに地域と連携し、高度のがん医療を提供します。

基本方針

1. 患者さんの権利と意思を尊重します。
2. 地域と連携し、適切ながん医療を提供します。
3. 教育と研修を充実し、優れた医療人を育成します。

「初心を忘れずに」

平成28年4月に事務局長に就任し、約2か月が過ぎました。しかし、まだまだ至らない点も多く、一日も早く病院全体の状況を把握し、よりよい病院づくりに貢献できるよう、気を引き締めて日々の業務に取り組んでいかなければならないと思っております。

がんセンターに着任後の経験の中で、大きな出来事として平成28年熊本地震の発生がありました。

甚大な被害があり、今なお多くの方が避難生活を余儀なくされています。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

この熊本地震に対しては、全国知事会から被災地支援として県に対する医療救護班の派遣要請があり、がんセンターでも、医師1名、看護師2名、薬剤師1名、業務調整員（事務）1名の計5名で構成する医療救護班を4月27日から5月1日まで熊本県に派遣しました。阿蘇地区を活動先として、主に現地病院の支援や避難所でのエコー検査などに従事したとのことでした。

私としては、派遣要請から派遣までの時間があまりなく、しかも現地はまだまだ余震の続く危険な状況下でしたので、人選が難しいのではと心配したのですが、各職種とも本人の希望をもとに迅速に派遣者を決定することができました。困っている被災者、被災地の力になりたいという、医療従事者の意識の高さを実感しました。

また、以前の職場での話ですが、医学生や医学部を目指す高校生と接する機会があり、「なぜ医師を志したのか」ということを質問したことが何度ありました。医学生等からは、自分が病気をした時に医師に丁寧に診察してもらい安心した、自分も人に安心を与えられる医師になりたい、あるいは、病気で苦しむ親族を見て、自分が医師になって助けたいと思ったなどの志望動機を多く聞きました。これは、今回の被災地での支援活動にも共通する医療従事者の初心、原点なのだろうと改めて思いました。

安全・安心な医療を提供するためには、知識や技術の向上はもちろんのこと、職員がこのような初心を忘れずに働き続けることが大切です。そのための環境づくりは事務局の大きな役割でもあり、その充実に努めていきたいと思っております。

と同時に、私自身も、このがんセンターに勤務する一員として、冒頭に書いた着任時の初心を忘れずに、しっかりと職責を果たしていけるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。



事務局長

歌代 昌文

外来診療のご案内 (外来担当医一覧表)

平成28年6月1日現在

区	分	月	火	水	木	金	
第一外来	内科	消化器	野川 秀之		野川 秀之	山下 哲	保坂 尚志
		血液	五十嵐忠彦	五十嵐忠彦 入沢 寛之	村山佳予子	村山佳予子 村田 直哉	五十嵐忠彦
		呼吸器	湊 浩一 (午後/禁煙外来) 藤本 栄	藤本 栄		今井 久雄	
	外科	消化器	福田 敬宏	福田 敬宏	尾嶋 仁 深井 康幸 持田 泰 山内 逸人 小川 敦	尾嶋 仁(新患) 深井 康幸 持田 泰 山内 逸人	尾嶋 仁 深井 康幸 持田 泰 山内 逸人 小川 敦
		乳腺	柳田 康弘 藤澤 知巳 宮本 健志 森下亜希子	柳田 康弘 藤澤 知巳 宮本 健志 森下亜希子	乳腺科医師 (新患のみ)	乳腺科医師 (新患のみ)	柳田 康弘 (遺伝)
		呼吸器			藤田 敦 小野里良一		藤田 敦
		形成	廣瀬 太郎				廣瀬 太郎
		精神腫瘍科			村上 忠		
							(午後ストーマ外来)
	第二外来	婦人科	中村 和人 伊吹 友二 木暮 圭子 内山 陽介	中村 和人 伊吹 友二 木暮 圭子		中村 和人	鹿沼 達哉 中村 和人 伊吹 友二 木暮 圭子 内山 陽介
歯科口腔外科		新垣 理宣		新垣 理宣		新垣 理宣	
頭頸科		鈴木 政美 井田 翔太 (午前再診)		鈴木 政美 井田 翔太 (午前再診)		鈴木 政美 井田 翔太 (午前再診)	
				鈴木 政美 井田 翔太 (午後新患)		鈴木 政美 井田 翔太 (午後新患)	
麻酔科		麻酔科医師				麻酔科医師 (午前 術前診察)	
泌尿器科		清水 信明 蓮見 勝 泌尿器科医師 (午後、新患のみ)	清水 信明 村松 和道 泌尿器科医師 (午後、新患のみ)		清水 信明 蓮見 勝 村松 和道	清水 信明 蓮見 勝	
		(1日リンパ外来)					
放射線科	放射線	江原 威謙 安藤 謙 川原 正寛	江原 威謙 安藤 謙 川原 正寛	江原 威謙 安藤 謙 川原 正寛	江原 威謙 安藤 謙 川原 正寛	江原 威謙 安藤 謙 川原 正寛	

※緩和ケア外来の受診を希望される方は“がん相談支援センター”へお問い合わせください。直通電話：0276-60-0679

診察予約 (初診、再診ともに予約制です。)

・初診紹介予約制について

当センターは「完全紹介予約制」です。初めて受診される方はあらかじめ電話で診療日時の予約をしていただき、診療当日は必ず主治医の紹介状（診療情報提供書）をお持ちください。また、再来の方も予約制となっておりますので、事前に予約をおとりください。

・がん検診について

当センターでは、がんの検診（一次検診）は行っておりません。市町村の検診や人間ドックをご利用ください。検診で異常を指摘された方の診療は行ってあります。

予約電話 0276-38-0762

- ・受付時間：午前9時から午後5時（休診日を除く）
- ・電話予約は診察を希望する日の1か月前から前日の午後1時までをお願いします。

※休診日 土・日曜日、祝日、年末年始

入院者の面会時間 午後0時30分～午後7時30分



〒373-8550 太田市高林西町617-1
TEL **0276-38-0771** (代)
FAX 0276-38-0614
URL <http://www.gunma-cc.jp>

